

| | | | | | | | | |
|-----------|-------------|--|------|---------|------|---|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 子どもの本当の力を引き出す療育（モンテッソーリ教育）を基本理念として、ご家庭や学校での生活において成長に繋がる支援を行っていきます。 | | | | | | |
| 支援方針 | | 普段の遊びを通して、個々のお子様に適した支援を行いながらお子様の気持ちに寄り添い、お子様がより生活しやすく、また、幼稚園や学校生活がより楽しい学びの場となるよう、細やかで丁寧な、お子様ご自身が楽しいと思ってくれるアットホームな支援を行っていきます。 | | | | | | |
| 営業時間 | | 10時 | 0分から | 18時 | 0分まで | 送迎実施の有無 | ある | なし |
| 本人支援 | 健康・生活 | <p>◎ランドセルや宿題などを所定の場所に片づけるなど基本的な生活習慣が自立して行えるよう、絵カードを使って促したり、積極的な声掛けを行う。</p> <p>◎苦手なことを頑張った時や、やろうとする意欲がみえた時には褒めてやる気を育てる。</p> <p>◎なかなかやる気になれない場合には、前向きに取り組むことが出来るように言葉がけを工夫しながら励ます。</p> | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <p>◎トランポリンやボルタリング・縄跳びなどを取り入れ、楽しみながら体幹を鍛える。</p> <p>◎戸外に出てボール活動や鬼ごっこなど遊びを通して運動感覚を養う。</p> <p>◎紙粘土や音楽リズム・鉛筆やペン・ハサミ・絵具など様々なものを活用し、視覚・聴覚・触覚などの感覚が十分に活用されるような活動を取り入れる。</p> | | | | | | |
| | 認知・行動 | <p>◎普段の遊びのなかで、UNOやトランプ・塗り絵など数量や大きさ・色・形などの概念を理解出来るような活動を取り入れる。</p> <p>◎思うようにならずパニック状態になってしまった場合には、一旦、クールダウンし精神的に落ち着いたら、気持ちに寄り添いながら「どうしたかったのか」「どうすればよかったのか」を言葉がけし、適切な言動を知る機会にする。</p> | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | <p>◎発語や言葉を使ったコミュニケーションが苦手な場合には、絵カードや指差し・身振り、サインなどを活用して思っていることや感じていることを表現出来るよう個々の特性に応じたコミュニケーションツールを活用し、様子を見ながらツールを変えていく。</p> <p>◎普段の遊びを通して職員との信頼関係を築けるよう個々の特性に応じて声かけをし、次のステップでお友達との信頼関係を築いていくことが出来るよう場面に応じた声かけを行う。</p> | | | | | | |
| | 人間関係社会性 | <p>◎異年齢のお友達との関わりの中で、遊びの中でお互いに刺激を受けたり模倣行動を通じて社会性や小さいお友達への関わり方など対人関係の芽生えに繋げていく。</p> <p>◎争いに発展したときに相手の気持ちを職員が代弁し、お友達の気持ちやどんな気持ちか知る機会にする。</p> <p>◎集団に苦手意識を持たずに参加するための手順やルールが理解出来るよう個々の特性に応じた声掛けや環境づくりで導く。</p> | | | | | | |
| 家族支援 | | きょうだいなどの家庭環境や親子関係・家族関係などの関係性に配慮しながら、きょうだいや保護者の方の困りごとや気持ちに寄り添った支援が出来るよう面談などの時間を十分に確保する。 | | 移行支援 | | インクルーシブ教育の観点から、保育所や幼稚園・学校での集団生活、人との関わりがスムーズになり、保育所や幼稚園・学校に楽しんで通うことが出来るように、必要に応じて担当の先生方と情報を共有する。 | | |
| 地域支援・地域連携 | | 六甲アイランドは地域の結びつきが強い地域のため、積極的に地域のイベントに参加することで、地域の方達への理解とインクルーシブな社会へと導くお手伝いを担う。 | | 職員の質の向上 | | 日々、職員間で意見交換を行い、問題提起やそれを解決するための改善策、ご利用者様のお気持ちやご希望を話し合い、全職員に周知・共有・実践を行う。研修への積極的な参加と内容の共有。 | | |
| 主な行事等 | | 年度によって違うが、夏祭り・味覚祭り・ハロウィンパーティー・クリスマスコンサートなどを行っている。 | | | | | | |